

5. 「研究力」をつける

5.1. EAFONS (East Asian Forum Of Nursing Scholars)

2015年2月5日 - 6日

中華民国 (台湾)

EAFONSは東アジア看護学研究者フォーラムです。2015年は「博士課程の教育におけるサイエンスとヒューマンティの統合」をテーマに台湾の台北市内で開催され、15以上の国々から700人が集まりました。

【学生の学び】

齋藤結香 (2014年入学)

日本赤十字看護大学の学生2名はそれぞれポスター発表をしました。私はフィンランドで実施した災害時のヘルスケアサマースクールでの学びを発表しました。ポスター発表に加えて英語での発表がはじめてであり、発表が始まるまでとても不安でした。実際にフィリピンの学生2人と、インドネシアの学生2人、日本の学生6人、日本の教員2人に質問を受け、説明させてもらううちに、自分が最初に抱えていた不安は徐々に小さくなることも。このように学びをまとめ、発表することによりディスカッションができ、新たな角度からの視点を発見し、学びを深めることができたと感じています。特に、リーダーシップ、フォロワーシップとしては自分の行動や態度はどうだったか、グローバルリーダーとして生かすにはどうすれば良いかという課題も発見し、思っていた以上に自分にとって有意義な発表でした。

また、災害看護の口頭セッションで各国の学生が災害看護に関する研究発表を聞いたり、PhD Student roundtable discussionに参加しました。アジア各国の学生が抱えている研究と仕事と家庭のバランスについて等の悩みについて共有し、意見を交換しました。また、レセプションで同席した台湾の看護師の方から、台湾では職場を離れずに学業を続けることがスタンダードであることも教えてもらいました。時間は長くかかりながらも、学業も選んでよかったという彼女の言葉と表情から、私も頑張ろうと勇気もらいました。看護研究をする学生同士のつながりができたことも嬉しく感じました。

